

創業アイデア 学生ら競う

崇城大で
コンテスト

県内の高校生や大学生らが創業のアイデアを競う「崇城大学ビジネスプランコンテスト」が10日、熊本市西区の同大で開かれ、車の乗り降りが楽になる車いすを提案した同大2年生の4人組が優勝し、賞金50万円を手にした。

若者に成長の場を提供するとともに



に「熊本発」の起業を支援しようとして、同大と県が開いており、8回目。107件の応募があり、書類審査を通じた高校生2組を含む9組が出場した。

学生らは畜産や伝統工芸の支援、熱中症予防などをテーマに、着想のきっかけや実現手段について熱心に発表。独創性や技術的な実現性を審査した。

優勝したのは、山下 さん、荒

井 さん、川村 さん、近藤

さんのチーム。座る部分と車輪部分が上下に分かれる車いすを考案し、座る部分ごと横にスライドして簡単に車内に移ることができるアイデアを披露。さまざまな車種に対応可能な点が高い評価を受けた。

山下さんは「亡くなる前に車いす生活だった祖母をもっと外出させてあげたかった。その思いを、仲間がビジネスプランとして一緒に磨き上げてくれた」と喜んだ。

中山峰男学長(右)らから表彰状を受け
取った崇城大2年生のチーム(中央の

4人)＝熊本市西区

(久間孝志)